刷般 路日社行初的

おは田の日八・田の日八

萩川放談

仕外正貨の 伸充策具體化す 月末開西銀行大會から歸り

三土藏相が聲明せん

浦鹽漁區の 契約調印

たので八木總領事は直ちに 嚴重抗議した人日井病院に對し不當にも立退 きを迫つは商埠地でないからとの 理由で同地の邦 ペルピン十九日發電』 支那官憲は三姓

八木總領事嚴重抗議

校長會議 來る三十日に

中一旦(睛)

一時最り

立退きを迫らる 不法なる哈爾賓支那官憲に

「昭和二年七月十 ならぬ、何れにしても本地は不當したが實には云はと歌節みの程度であるが能。等手をつけた模様なく、右の通告に無めの羽人は大し何れ鳴流するものと見たければ、等手をつけた模様なく、右の通告に

野添奉天商議書記長語る けふ任期満了す

所員を集め別れの挨拶

代とと既役を市長にしたらよからら行といふ奇妙な論がある。いつそのいつその が記述を が大臣の下屋 が大臣の下屋 一風に立つのは

東東二十日發電3金無統についての政府の影響と見るべき在外正なを十九日の開設に続て一任され成を十九日の開設に続て一任された三土競相は十九日午後三時載相た三土競相は十九日午後三時載相は十九日午後三時載相 様である 内外に聲明すること である 滅相ご日銀總裁 金解禁、在外正貨補充問題で? 而して御批准奏請は今月中に行はるゝ模 つて密議

支那派遣軍

日 等かの塚に出づるであらうが、日 等かの塚に出づるであらうが、 て正式に通告するが販放へず口で 頭で通知する

南潯鐵路公司と

、で員、幹事は委員長・名を委員會は委員長に社長を昭率係長

漢冶萍公司問題

きのふ預金部運用委員會で

は委員長の命を受け會務

富田預金部長の報告

表彰行惱む

關係當局間の

問題の字句に對しては我國が 獨自の解釋を附することを原案の儘御批准を奏請すること

突如邦商に對し

學良氏顧問

徐氏赴滬

けふの榊丸で

銷場稅徵收運

進告

十九日奉天稅捐總局員が戸別訪問

横柄な態

度を以て

局の変員は鉱内の邦筋を戸

事務別局課制度

質に怪しからぬ

断じて納入出來ない

市助役と收入役

結局修正をせぬ

前田法制局長官ご

して最春の別策を贈ずることと 賠償會議の 物中である。

獨代表認む 可能性ありと 立、突員長貝編金音、突員大岩楽
 古、孁藤利清、金子利八郎、生
 古、孁藤利清、金子利八郎、生
 中根信蒙、大內次男、玉名勝夫
 即日直衛、幹事大內求男、玉名勝夫
 即日直衛、幹事大內求男、玉名勝夫
 市場で、大內次男、玉名勝夫
 京都は瀬崎記。

【ベルリン十九日登電】金曜日正 原田耕一氏は二十七日開催の完時に続けるドイツの関特別會議の 總倉に出席の爲め二十一日東京設計系に続ければドイツ側はベリー二十四日あめりか丸にて健連の答時に於ける際便恵門を 常田 原田耕一氏は二十七日開催の完時にかける際便恵門を 常田 かりと 原田五品理事長

の 東官が結膜を切らせられた。 「福府は怪しからぬ」と言った 0

起兩激授

大 觀

觀

十五日より

①四月十

速

行與念記社復活日郎大傳內河大 衛兵利屋野天

を選ぶしか、是れ全く架空の言と を選ぶしか、是れ全く架空の言と を選ぶしか、是れ全く架空の言と り、そうして満が山東への進出

馬玉群との確実に外ならず、 ・ は同政府の内部に破綻あればこ ・ た然りで、それが助ち薪介石と ・ た然りで、それが助ち薪介石と

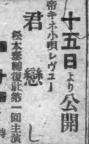
國反對の意を表す

首相以下善後策協議の結果

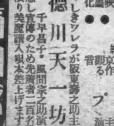
はてしたとて、中本が指兵するは、どうして服宗は等を支持し得るか、どうして服宗は等を支持し得るか、どうして張宗は等を支持し得るか、どうして張宗は等を支持し得るか、終さんと彼せば南、大きの後等を震談するは容易の後等を震談するは容易の 

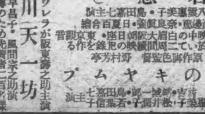
烹

関まで投げ出すやりになる。 市政革新運動、何ぞ百尺学頭一 拾五日點大興行 映画

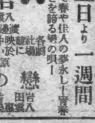


國















演主二耕島·江鄂川夏

けふから徴收 場料

判官からの風楽殿に寄港 より何度事を聞かされ

三方の入口に門衞が立つて

回二錢の切符賣り

**本紙に連載大好評の** 

金剛呪門の映畵

武井龍三主演の前後篇十六卷

來る廿四五日兩夜協和會館で

**本社主催で封切會** 

としての名歌をあげ一躍して飛行化された事は野戦の城くである地にはこの一作によつて大衆作家、本キネマ双ケ丘撮影所に於て映響があると共に作者の山中峰太子より熟躍されつよるつたが、中元を割すると共に作者の山中峰太子より熟躍されつようたが、中元を割すると共に作者の山中峰太子より熟躍されつように対している。

野になる。 の程気にしたので深るサ四、五世の程気になる。 ので、前後に十六巻を原守に前後に大て本社主権ので、 で、前後に下、前後に大て本社主権ので、 をいって、前後に大いし、 ので、前後に下、こので、 で、の期待に深ふことにはの愛護・ で、の期待に深ふことにはの愛護・ は、これによる。 で、これによる。 で、これになる。 で、これになる。 で、これになる。 で、これになる。 で

大衆作家の地位を築き上げた出

グ公殿下新

橋は大連機械會社で請負ひ去

れ従家中の演野像松外二名の日本 一日から工事中であるが、二十日 一日から工事中であるが、二十日

たける共に奉天糧よりは松井司法士を行うまた、急戦により電に臨時救護班が出版を重なた、急戦により零天職により電に臨時救護班が出版を重くなり、急戦により電大職の場合を表した。

事品に長り

2

とめ

一國五十二

ては映画完成と共に滿所に すべく着々と準備

那人も罹病

上海の脳脊

幼稚園設立

渾河鐵橋の

【奉天特電廿日酸】下り線の瀬河 工事中椿事 三名死傷す

回 海岬三川 岩倉洋 

新術を張り恐人疾者中である。未だ何等の手掛りなく居留民は不安に襲が日本京氏が十九時午後入時頃断場地景で能を敷が、前と通常に独立した我が続領事館といる大、総際を聞いて附近の巡響は直に現場に配けつけたが恐人は窓に逃ごした我が続領事館といる大、総際を聞いて附近の巡響は直に現場に配けつけたが恐人は窓に逃ごした我が続領事館とび日本京城では支那艘代表継土衆氏の立會を求め機調をなしその附近一部は我爺に使って非常で日本京城では支那艘代表継土衆氏の立會を求め機調をなしその附近一部は我爺に使って非常で日本京城では支那艘代表継土衆氏の立會を求め機調をなしその附近一部は我爺は事館とび日本京城では大阪内に、一大阪内に等を記した。 北人は便衣隊ら

練習艦隊

べてるた、されに對し高井検 を言つたのです

あす愈よ優勝

試合

**榮冠は何處へ、豫想を許さ**り

興味ある最後の一戦

しく逃亡す

青島

大時技術し青島へ向けて なる練習を除いた整元 を終へ準習を除いた を終へ準理を除いた でのかく明二十 を終へ準理を除いた を表でのなり でのかく明二十 である。

はれ人心極度に動搖しつゝあり倫理人は便衣服の一人らしいと

人場料を徴收する電園正門

る日曜學校を利用すること」し続する計畫であるとあり建物は差譜り現在四丁目にあ一銭の補助を仰いて料来財團法人あり建物は差譜り現在四丁目にあ一銭の補助を仰いて料来財團法人

れた旅順的近の櫻は約一萬本以 柳の学は一層。壁る、櫻で満た ころび染めるだらう。春の音信 であたり、春の音信

天長節頃から

00

のさくら

| 校列 なる論告の後職後 | 突雪ひ灘しは来る二十七日の豫定等館は | 年を水形し午後一時晩年したが発 市長選選を行きを注記した上とする事にした上とする事にした 當分抗告せい 成行を注視し

有效 於確俱禁題) **翻東州野球大會** 

讀者席入場

第 (山胜弘)

濟南

讀者席入場券(上數公) 滿洲日報社

100 mg/s/200













輸送高

郡で銀行することになった。原信条行一千五十萬元、中國銀行七百萬元、後衛公司二百十萬元、後衆、

H

哈爾賓大洋

新紙幣を發行

漸次舊紙幣を回收す

日から實行

水産會社の

二月下半期 天津商況 重要輸出入品 神子 大大三、八五四 一大五萬一千二百三十一殿にて前期 に近し九萬一千三百三十一殿にて前期 に近し九萬一千三百三十一殿にて前期 に近し九萬一千五百八十一殿、 年間期に近し三十萬三千六十二殿 に近し九萬一千五百八十一殿、 年間期に近し三十萬三千六十二殿 である、なは當期。 を上げたものである、なは當期。 が明 神 東 一大八三、八五四 一六四五一 一三七、一〇六 四四〇八二 一三七、一〇六

けるものとみられてある

済禰に滿洲各同業組合その他經

を得、來る廿五日午後三時から あ九日東役會で今期決算の承認 文 満洲 水産株式 會 吐 は去

**小大大小中大** 

奇の店

本年度の施設事

各種産業の

獎勵概要

在生 は の、 年の書、 税職で死んだ。

紫通…… 黒テニス靴

リョ日ー廿月四

拉日五月五間日五十

今期の實績

一枚 二〇六五

二新銀合出公

競型 月月 五四二十十八日日(日土天長曜曜) 雨天願延

見 十時開始 一時開始

三港到着の 特產物數量 三月中五十三萬餘噸

三月十七 一四九二 三十六七三 三月二十 一四九二 三十六七 五七二 三六六七

一千五百萬圓餘 郊外(名部)

引入艦 一五、五四三 (単位千厘) 大二、二四一 大二、二四一 大二、二四一 大二、二四一 大二、二四一

合現定 計物期 計物期 計場期 新麗新 新 引密引寄引寄現 ※1 新數果可引

스호호

萬七千三百廿五圓を計上(左分)し一千六百四十四圓を発

(215)

息板を一瞬に牽はれた態能からこの女!」

を表ると見る間に、 を表ると見る間に、

◇日本少女歌劇座◇村上演藝部後提會設會式に招聘されて來月七日から歌樂伎座で開演、窓貫は一座の高速度レジされて來月七日から歌樂伎座で開演、窓貫は一座の高速度レジ

と、文は、思はず立ち

その繊維をお返し下さ

旭華曾主催の春季 近楽館に於て開催さ 近楽館に於て開催さ

おきで(電三九五八)まる君(電六九五四)ま

代表的沒持疾藥

▲ボリーブといふのは行門の ・で排便の抜けをするもので非常に を選すのである、行門を塞い で排便の抜けをするもので非常に で排便の抜けをするもので非常に でがほど、それが磨機や でがほど、これが磨機や でがでするもので非常に でがでするもので非常に

現今では編々な母疾患が設置されてあるが多くは一時的別力を有すてあるが多くは一時的別力を有する最も信用あり、又質別も優れても最も信用あり、又質別も優れてもなるのは何と気つても世間に知られてある小総ちの趣でその特殊なれてある小総ちの趣でその特殊ない。

和昭

\*

145

藥

のをがいの後をお京はムズと種へ入らうと

▲肛門製創 これは所謂きれて歌るべき風味などは近野なられ難なと出血を作ふるであるべき風味をとなる危機がある、そののでいるとは出来ない。

見ると、ハッとなった。 関ると、ハッとなった。

人ごみの呼べき の本質が、路へ曲 の本質が、路へ曲

和昭

7

誰の傷気とし

た際に、後の

文職の際子の質問から、あわて、二級のできれを見た四人の質が強れ出てる。 あわて、二級のではした。 そ

春季に亢進する

86

痔疾。種類症狀

映畵漫談會

んだった。四人が門内へ走り

- 早く驚戦を持ってつか驚をかけた。

就れ

郷すとそのま、館で悶虧した。中身に激薬を浴びた萩原、身を「あゝツー……」

「えツッ火が?火事になりまツか 型では、なはも機嫌ぎに、スラリと対していたはないと、機をおさへると機に離れた。と、特別の一人は息材を選上げられて特別の一人は息材を選上げられて特別の一人は息材を選上げられて特別をおって、なは息材を選上があるお家を見つめた対し、特別ので呼ぶと、右手に下げてる要が、おきに下げてる要が、おきに下げてる要が、おきに下げてる要が、おきに下げてる要が、おきに下げてる要が、おきに下げてる要が、おきに下げても要が、おきに下げても要が、おきに下げても要が、ない。

は、人人の上に乗んだ業職、今しもお京の後 ・人人の上に乗んだ業職、今しもお京の後 ・人人の上に乗んだ業職、今しもお京の後 ・人人の上に乗んだ業職、今しもお京の後

と 対話は人ごみの呼へ即つて入つた で た では、 本身が 黒焦げに 離れてる 様にの 変いの が 変化を 見ると、 へト くと後へ ないの かない と、 ないの が 変化を 見ると、 へト くと後へ ないの かない と、 ないの が 変化 を 見ると、 へト くと後へ ない から な

ついある 新舊合同の

和昭

---

能划治主

概、姿勢迅速なるは之に限る。 と、構施・腰症・等凡ての影響

熟、疼痛に最適

奏勢迅速なるは之に限る。

匹 月 生

EL-NOVALE IN

肺病を怖れて 痔疾を怖れぬか 時々刻々に命を削る 痔瘻は難病中の難病 なぜ

教育的に、駐組的に、可能に、 熟に燃え上う美しい 榮親 和昭

す。ヘガキには航間の名を記入し玉曜合名の前頭御申練下さい。 和 昭

地さならてあす 昭

藥

能划治主

脚類其の他便秘より來る階位に動する便秘、選上症、耳鳴、眩暈、胸膜唇が して其の効迅速なる事語合なり。 を は 強い ない は ない ない ない は ない ない ない は ない ない は ない ない は ない は

能効治主 月銀不眠、月銀伝統、紫雀等時で40至後に 神ふ不庇症、脱落病狀等に用ひての特効薬に 中心で、進用しても無害にして正規の來潮を して殊に連用しても無害にして正規の來潮を できるを終っ。

能効治主 新に動する特殊をこで既に定認あり。 類に動する特殊をこで既に定認あり。 主义 Ŋ,

能効治主

能划治主 東本郷の特徴なり。 東本郷の特徴なり。 知らぬ間に治能する

B 7

t

きの

紫

和

能効治主

百日暖

探を去

新、は最等に特別部。 地域する不眠、四肢脈合、能電力の減速、頭地はする不眠、四肢脈合、能電力の減速、頭地はする不眠、四肢脈合、能電力の減速、頭地は、2000年間、20

育 蘇木 察

す賣販に店藥各地各

能效治主

東京、 なの他がない。 其の他がない。 「現場、「現場」、「現場」を引きませる。 「現場」を引きませる。 「現場」を引きませる。 「現場」を記述している。 「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」

能効治主

推翻 图 元 賣 發

約井井井井旭 店級級嚴嚴 特 天東島春賓 率安青 堂堂堂堂 昌昌昌昌昌 上上上上 堂 番の二一連大座口替派

八八四龍 #命用御の入(阿奕

来を参考に

工事の御用命は

高石

石商

言

月

東部東京市日本橋東京市日本橋

春

場

時辨は全 册(和经

なくてはなら

西山先生日人 山田先生日( せらる!!

かつま詳解

効果と

毛筆又はベンの 特約店墓

修 氏

考職林階被聯 考定解離 考定版故 考院斯斯 顧問之 牧野富太 水鐵五 宗 信 博 幹 昭 利 郎 郎

監修校註白井光太郎 木村 真康 海 植物、 醫師藥劑師は固より動物 明なる國譯曉光の前に開 れたり。

込あれ。 術家、 石に必須の大出版、 文學家、 鑛物の各専門家、 宗教家の座 即刻申

病上の 學術上の 豫約募集。 大聖典は創めて平 一大秘藏· 積集五千 醫學治 年世界

原著者李

時

珍

美 

五拾全

略= 指 K · 地名· 治六篇

豐富。

根最

據新

討究認

識

科學

任

務

は

現實

0

誇

る

全

譯

譯

文

0

平明挿畫

0

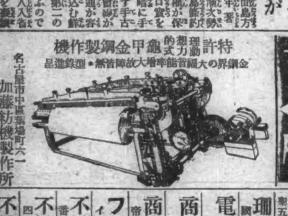
絶好の名著!!

內容見本建 國 はここ 誇り百花 書籍よ 爛漫 た 始る 春は 豫約郷五月廿二 ◇錄目總卉花◇

■規 解體圖) 大判極彩色木版手摺、 葉(燈影式寫生圖解說、 田田田弘神会 口昭和四年五月中旬より曜月一概づふ十二月 经料市內二個四合品

輯拾貳

杉浦非水畫伯編 め學術參考品として



佐藤紅喬店 手袋靴下專門 大寶店の番

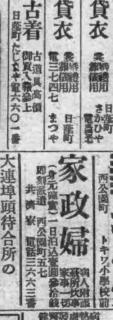




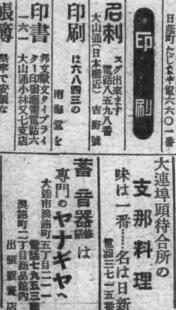


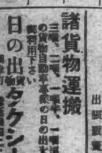
大連若俠町二二七後建物アイオリン自全政グアイオリン自全政がという。





印









七語電









火災是超對安全在

今枝 商店

中間随家午前午後夜間英學會 時間随家午前午後夜間英學会 時間随家午前午後夜間英學会 時間随家午前午後夜間英學会 時間随家午前午後夜間英學会 時間随家午前午後夜間英學会

牛乳 なら大正牧り 一年乳 なら大正牧り 一年乳 なら大正牧り 一年乳 大売牛乳株式會社

着ボック

夢水源地自動車學經 養成規則

| 大連市但属明 | 大連市担保 | 大連市 | 大連市担保 | 大連市担保 | 大連市担保 | 大連市 | 大連市

ゴム 印吉野町二六 一萬堂 電七八五九番

تات

の御用命は

米!・城川洋行河勝町電 数鳥町 三河最電三四七七番 数鳥町 三河最間三四七七番 数鳥町 三河最間三四七七番

安田の金庫

筫

中乳 パタークリー名 満洲牧場 電六一三四 高州牧場 電六一三四

ラチュは何で

約店募集 型錄輯星

クサ 頻繁有ます 大連劇場画 根本機局電大空

電話六六八八へ

頭痛にノーシン

第小身原局

の大の大の大の

日本 丸熱、肺炎、チブス山脈通三宜堂薬房電七四〇二 山脈通三宜堂薬房電七四〇二 内脈通三宜堂薬房電七四〇二

る語を登る

オは何でも大勉強

五式 三ユトロンダイン 三ユトロンダイン

貸家調

電話七五八一へ

薬及治療

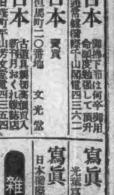
ホネッギ

総の國屋質店

井町の一生ージ精内は一井町の一生ージ精内は一地の一生ージ精内は 屋質 常盤精工舍 勉強致います。

村

をは五七七日・三八八六号 の貨物自動車を御利用下さい 大連タクシー 大連タクシー カメラと 新古カメラ特價提供 変換歡迎 大連常線欄筋門通





東北政權

爆弾に坐する

徹底的淨化を望む

秋山 野遊

四五月の滞りかる。

低端月ヤクモト

店員業

世の東張町徳師ビル前の世界形割の

野田看板店 電四五六四番 伊勢町野田看板店電四五六四

三河町二油内 電ス六七五

代金低利福級

シング

電話三五三三番

满洲

日報









石古屋案內(中央廣告社扱)

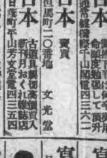
満

E.C.







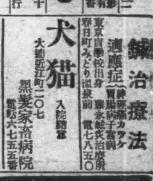














氣遣は 南満教専の運命 三二年後に決定せん れる

▲申込所 奉天驛案內所(電話三四/1)

鎭江山觀櫻會員縣

▲汽車賃 (住復) 金四則三十餘也

期

H

来る二十七日夜十時五十分發

主催

いった。 新野湖と共に修野銀行のシーズン せられてるた通り代表にヘルピン 対に機能を含ったので各級校ではそれん 方面に行く計像である、実践中級校 大学に かいがきつまりの状態にあり、10回本でも となつたので各級校ではそれん 方面に行く計像である、実践中級校 大学生の版大方面旅行で飛月の七 気がは無いが職員会談の都果五月 四大管その他の激級事契要等を合った対に機能でするが、大部小野校高等科生は本春れてより、生徒にも其の意識を添して 海大池の路設御五十萬風を要するので著る、大学生の版大方面旅行で飛月の七 気がは無いが職員会談の都果五月 四大管その他の激級事契要等を合った対に機能でする。大部小野校高等科生は本春れてより、生徒にも其の意識を添した。 本本・一直風を要するので著る、大部小野校高等科生は本春れてより、生徒にも其の意識を添した。 本本・一直風を要するので著る。 大部小野校高等科生は本春れてより、生徒にも其の意識を添した。 からには地密要が二十六萬風を至する。 は本年にはでする。 本は本年に対してい行きつまりの状態にあり、20回本では、一方では大学校の大学校五年生はですから整理を

話研究會生る

しつ」あったが今度大和小學校長、潤い所から樹脂り二三の後援者を、人として持つ良心の示す所に從ひとれが影響に就いて燃てより高心、本たので耐氏が顧話に難する濫餓 ピクノーして使ふより各自が社会社會施設が無く山木社会保主事は 様氏の耐氏が樹前後して頓低して トル誌になって高い料金を掘って安東には見重を本位とした何等の に平島等三郎氏、社会保に竹田等 気がめ ねばならぬ結果メージを 

見童本位の施設として

追て兒童倶樂部設立

農業質智所の

爆破作業をはる

十日間に二十一町歩

遊戲場

公園に出來る

熊

岳

買店やら

への旅 Ш

京都

の友難が如何に内外に喧嘩さ 

乗してさうでし、

を受けるの影響で楽はれつよる を受けるの影響で楽はれつよる を受けるの影響で楽はれつよる

「私の京都への能」は古種を過ぎた窓母の病、あつしとのためぎた窓母の病、あつしとのためにあった、十餘年根みざるは、かりであった、十餘年根みざるは、かりであった、これが現代の流れというであった、これが現代の流れというであった。これが現代の流れというであった。これが現代の流れとしてはいる。

大学学院の大学学院の一年人自二十七口である事事生三十六名 十八日夜社 九十四名、一千八百二十七口である事事任意兵職長 十九日奉天 十一萬九千二百八十八國、組合員で東へ 大会に一名母に百八十八國、組合員で東へ 大会に一名母に百八十八國、組合員で東へ 大会に一名母に百八十八國、組合員で東へ 大会に一名母に百八十八國、組合員で東京 大会に一名母に百八十八國、組合員で東京 大会に一名母に百八十八國、組合員で東京 大会に一名母に百八十八國、組合員で東京 大会に一名母に「十九日である」。 輸入組合業績

長

春

奉天鐵道際旅客課奉天日日新聞社 

春陽に惠まれて 各校の修學旅行 朝日大和の一部は旣に決定

安中五年は上海へか

性でな光秀の母績田信

長の短騰



る子に死別

大新聞の配 大新聞の配 大新聞の配

速く空候せられんことを祈る。一郎と事なく義曾の良楽に頼つて一日も

於營長四開鐵撫奉遼鞍旅大爾口春,原嶺順天陽山願連 賓水祝平新敦東紅東赤敦磐

家世町 市島六梅洋城賀城

「されをしも信せざれば天下に棚を置せられた文第である。

東

7

天下の大問題さなつた良薬

田

左

商者の良数

を、学問の緊急に関心して歌術なるへので、公用正大となった戦である。 ので、公用正大となった戦である。 ので、公用正大となった戦である。

浦高

冰浦

対伏尾



八加答見で決定

林立病院で

表して、有田栗を服用せられる といふ難はあらゆる薬を試したけ たが、立使に全快してみるとの事がして非常に導んで居ります。 気だといはれて驚いてしまひまし しても時状は起りません意。余りまして非常に導んで居ります。 気だといはれて驚いてしまひまし しても時状は起りません意。余りかりに驚き入る外ありません。 を続したり解形が驚んで来るので れ、又二週間分譲いて帰り服薬しなが、

者の心得版製法、自然製法に至るまで談しく戦へられ、有田ご武機 製造の有田宗教の版製を有田副被 の有田宗教の版製を有田副被 の有田宗教の版製を有田副被 のの有田宗教の版製を有田副被 のの有田宗教の版製を有田副被 ののではありました。早速版製



徳いる川小

いのでその儘にして居た度、欧々

佛の利益か 薬の効めか

は 一種お歌のする大部であります。

玉 会者 小川 るい

胸の病

人と何くのないないでしません。

位ウユリ代田

腹膜炎

**建** 井上敏天

汗があり時々解部に搬みを思ずる

ので、これは唯の風邪

月余り入院して極々輩生しました ・ するとよいといはれて、選に三ケ 既有がで多數の全快者のある事を が、費用が滞山入る部合に編集は が、費用が滞山入る部合に編集は 受けた感が、ロクマー を楽して唐りましたところ、 から で子宮でも願いのではなからうか **大阪で願いてゐましたが、何日** 

が機能要の有田松製治脈帯と有田 松機能要の有田松製治脈帯と有田 松機能要の有田松製治脈帯と有田 は、四日 効く薬のある事を聞き、即連交が は、四日 効く薬のある事を聞き、即連交が は、四日 効く薬のある事を聞き、即連交が は、一位できるの経験を表現しく疑し、主 に行きるの経験を表現が表現であって下さ は、一位では、本田がはは、第一の方田 が、一般の治験がと有田が設すとを言求。 の、伊守資主は様から、かった としたなら応度を使するに遠ひない。 したなら応度を使するに遠ひない。

に味がつき、熱も次第に下り、之 に味がつき、熱も次第に下り、之 では要を買ひ一生熟館に際第に を を なのなに要者に診て顧きました。 なのなに要者に診で顧きました。 なのなに要者に診で顧きました。 なのなに要者に診で顧きました。 なのなに要者に診で顧きました。 とり家族一員も非常に裏び、現在 より家族一員も非常に裏び、現在 とり家族一員も非常に裏び、現在

國

質 全後書 田代リユウ佐 繁吾を帰事大川芸川

百久 四百久の血が出來る 有田血液素「モオーソール

大大大

一般有効の高度報

有田ドラツグ産者主

有田音松

申されましたので、家族一同悪心で、家族一同悪心にある同じ病薬

に全性してゐると

お産を

| 古田郷海家と云山柳郷を買べの服 芸に様より養生法を、凍り、有田 芸に様より養生法を、凍り、有田 芸に様より養生法を、凍り、有田

全快後無事に

めて安慰を恋め離

本館大阪内本町二を変する。本館大阪内本町二を変す、大阪内本町二を変する。大阪内本町二を変する。

語合薬

しおは

セ禁を費る

油香漢上天北 頭港口海津京 ◆恰利本稿北前

安東租綠旭門

世帯物として第一に選取するも 有田血液素を限めば、左のは牛島内、魚類、下子、ソッ 知き、著 しき処力を聞けずのである。 ま等の品は無線波光測には速 (一) 駅前青日の人は前に飲めてある。 (二) 駅前青日の人は前に飲めてある。

市南區來古橋灣三丁月五號地

しめ、若くば繁後病化薬を服用しめ、若くば繁後病化薬を服用を を動へ有田血液素を服用 を動へ有田血液素を服用

を得つ よいと離めてみましいと離めてみました人が際山る

らべき

の感冒から

の代表的な兜として関要になつてるる紙糸網大概は兜の僕作等のによつて製作された總金を美、黒糸板の具足、或は擬平時代

りのみに限られたかの動があり、外解りは行はれた優つたものその他があります。近来の傾倒としてだ

生地發見から

桃太郎が全盛

その他では古典的なもの

外飾りは廢れた

して激想外であった事は

す、それにも地 ちとは全く権利 らとは全く権利

日本の婦

生へてらアー

飛ん

だ

事

はないっ

速水

録「お破ちやん、あれ黒いち

弓

銅像を見て

が非常に活動にを をアメリカ婦人と魅らなやうには を運動に残冷運動に及らなやうには をするして程られるのには酸に で、これ迄能が動いである事です、 これをな子高等数質機関が少いと で、これ迄能が脱れたは、 で、これ迄能が配数に をするのには酸に をするのには酸に をするのには をするのには をするのには をするのには をするのには をするのには をするのには をするのには をするのに をする。 をするのに をするのに をするのに をするのに をするのに をするのに をするのに をするのに をするのに をする。 をするののに をする。 をするののに をする。 をするののに をする。 をするのので。 をするのので。 をするので。 をするので をする。 をす

▲二二歳――五二歳……三輪車にから、メリーゴーラウンド、風を竹刀、砂場用の砂、遊池を竹刀、砂場用の砂、遊池を竹刀、砂場用の砂、遊池を竹刀、砂場用の砂、遊池を竹刀、砂場用の砂、遊池を 色合 ひとしては只いかり 地勢ではサテンクレープデシン

婦人や兒童の保護善導等で 淡皮灰

横銀満

認められてきた

一床御花其鑑 一糖に御茶穫尻フ 一炭酸遊濤茶二三服にて御 めげて御炭不残一等 コブ疾りて

婦人洋服 袋竹(日) に新味 抵風、フットボール、底球用具な ・ル、ベースボール、底球用具な

般的になった

の進行を接徐ならしむるが故に、高血障者の常用剤として最も貴重なり。受証試を恢復す。血管に若返り現象を興へ、老護を全く防止し得ざる迄も、そてニッザの應用は血壓を下げ、頭重、倦怠、眩暈、異張り、不眠、耳鳴等の自 野脈硬化症、脳溢血及び 海逸オスナアルク議器治療薬會社 四個代別 店商邊田 個人……京京

「やアおかしいな。お父さんの頭に毛が 古い寫真帖を見てた子供 **茶事の種類** 

用心かさ 嘔惡頭心胃食消 吐醉痛悸鶥思化 惡宿眩亢疹滅不 心醉暈進痛退良 



最近人形にもその新趣向のものが行はれるやうになつてまるりつて居ります。三月人形に木彫や木は八人形が飾られるやうに成ひは稍略式として鬼を中心にして膨脹に飾る事が流行りとな

適當なるもの 三歳から十二歳迄

京松屋の個人洋服によれば、見受けます。今春の流行とし

場 協 西 話 電

この婦人巡査はあの別別なは、 の保証を実施を実施をは、 の母人巡査はあの別別大歌の時間を 対して おりまり 人に おりまり 人に おりまり できまから できまから できまから できまから は できまから に できまから は できまから に できま に できま に で

を でありました。時代の 要温い できゅう はず、 男子神代を 製知する 事が出来する まんだい 野猫 かんしょう まただい 野猫 かんしょう まんだい しょう まんしょう まんしょう まんしょう まんしょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょ はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしょく はんしん はんしょ はんしん はんしん はんしん はんしん はんしょく はん

おろして一水指右門一個床は花唳入て灯墨、一尻ファ

美事に成功

楮は一切用ひない

局粱稈の製紙

でフリーマー を受けられる皆、曲目の進むに連れて内外人入り戦がら三十氏文で市場内部四十四代の職東州野球大舎解源電東野沙河れて聞いホールも一杯に十一時頃、連名の下に春季販賣デーを催するの職東州野球大舎解源電東野沙河れて聞いホールも一杯に十一時頃、連名の下に春季販賣デーを催するの職東州野球大舎解源電東野沙河れて聞いホールも一杯に十一時頃、連名の下に春季販賣デーを催するの職東州野球大舎解源電車の態度があれて聞いホールも一杯に十一時頃、連名の下に春季販賣デーを催するの職東州野球大舎解源電車の態度にあれて聞いました。

廿八日官邸で

木下長官の

强盗捕はる

天摩山で一名だり 他の二名は京城へ

日登」影戦の春児 南山一幣を砂画殿面捜査中でも 一年前二時ころ一名 本音を吐く 音祭の取調で

り大連署において所在搜査中の處

修を許欺極値したものである 軍隊慰安會 北九名 に既し復興傲然

を使用して黎天、長春、佐俊、

られたのを奇貨とし

の業務を繼承致候

一日限り之を廢し財團法人大連醫院に於て一切院、沙河口分院及金州分院は昭和四年三月三十南滿洲鐵道株式會社大連醫院、同分院、同壽醫 抦菏揃

財團 大連 醫南滿洲鐵道株式會社 に付此段謹告候也 院



借かない国信おるなど

、十日午後三時から開通した。大西晋一郎の三名共即死した。大西晋一郎の三名共即死した 伯の

意家コローを思はせるし、温のある日一の如きが問

滿洲風物畵展

南監獄

一名破獄逃亡

、藤主計暗殺事件で同時刻に

城内外は戒嚴令

松本五十職職は遼陽から二松本五十職職は遼北では、日本の野地の一大学が、日本の野地の一大学が、日本の一大学に対している。 のでき素質と貯水を載せしめ既は堅實なる素描と相俟つて

廿二日に來連

本花を観賞するため何れも早く出掛一・野見當の由の大のびや、見頃に吹きぬれた旅順の根はれてある價格は二千枚付一覧二 遼陽

京都遠征の

**渾河鐵橋開通** 

東倉庫に一泊、二十三日江崎北十二日午前七時四十五分來遊、十二日午前七時四十五分來遊、

二十名決まる

砂塵烈しきため

准決勝戰を延期

廉賣デ

沙河口市場の

と影響ぶりを見せてゐた

債券を賣る約

東で

詐欺を働いた男

た書類を種に

数関領型人として

四年四月廿一日(日曜日) 四年四月廿一日(日曜日)

不災場を与って、

明日 玉

銀金絹セール 連着羽 葉足羽 葉

-三分(內地中繼)

見る電膜として同野者の注目をひていいましたものだけあつて近来稀にでいましたものだけあつて近来稀にでいません。 にあつめた観があり氏が自ら「こ

ラザス

外二大兒切品澤山

直

お買物の御上手は事門店をお撰定 民品の楽敵に安い大適一の専門店

哲と面反の

柄や呂蓋

八円半

.月

原の酷は總で五十四種補洲里、ポートン、ブヘト等の批離より拡大方。 でクラニチナヤ、呼倫貝爾、デヤン会 でクラニチナヤ、呼倫貝爾、デヤン会 でクラニチナヤ、呼倫貝爾、デヤン会 でのいる。

堺市の視察圏堺市商工

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*





满洲風

伊藤順三氏作品……於三階 展覽會



風俗約五十點。滿洲百景中一部第一回の發表…氏が渡滿以來揃き集めたる滿蒙各地の風景や 物畵



練習艦隊歡迎

江山池田特志縣野綾村本田中野野田中賦 刻 古筆阿寺岡 (保部門) 三岡岡岡岡

關東州 午後三時より満倶球場にて 口工場對南滿電氣 野球大會 決勝戰 H

外科内分泌病

煀

**泛醫院** 

大建市声野町三曲

電話三二六七世

(三越伊勢町忠

**新室完備入院隨時** 

医爆炸型江塞河。

**昭和四年四月一日** 

23Bay B マデ 有貳回新荷帛 **汝無地、鹽瀨丸帶** 結城縮、銘仙、金 水人会 大々的見切品

(107)

14:10

女がヴェー

るます。後は変罪の壁軍將校な。提供してやる事が出来るのだ。何 製には、一人の融別の人の知人。多の女のほに、一覧どんな利益を ったではないか。 しても、「酸に何の力があるのだ。」 店頭に並べて林の芽水仙 の 旅順 山地

もの

みの占むべき

慢良

なる品質

を持つ

明なる近代的紳士

への賞讃し

地位にある純國産化

その上に、彼女は東京野場の人に対しているのに違いはないが、一気女の起居は一人群党の関連のうに対するのだ。 たとへ、彼女が状態なる数に似てるるのに違いはないが、内内の間様に、ある黒悪が動いてあるのだ。 はが地の内の間様に、ある黒悪が動いたとへ、彼女が大きるる陰謀して見れば、考へてもくくその理して見れば、考へてもくくの理して見れば、考へてもくくの理して見れば、考へてもくくの理して見れば、考へてもくくの理しているのに違いはないが、内内には、解かたとへば、ある黒悪が動いてあるのに違いはないが、一気があると、彼女が大きへ近づいたに

**一** 大連信機町

**宝旅** 質質

茶代廢止大勉强

たとへば、電気が彼をわざくくくなかつた。しかし、彼の臓のたらながまだ一度も厳村子殿に含つた。合子を結びつけて考へなければなは領事がないと言つたり、又、時には、ちない郷な、一種の灯気が襲び焼けでも、を知つてるたり、まだいろいろな事があった。 出日日 滿日俳壇 文藝

かった。 でもなかつた。 でもなかつた。 ならしかつた。 でもなかつた。 でもなかつた。 でもなかつた。 なばれないが、 ではないが、 の対にとつては凡ては別では、 あの美しき婦人が、 軍 それは、 何となく、 私担かも知

せい 本主成分とせる乳児栄養品

等の治療的榮養

を対についてのある疑ひを握って対象がについてのある疑びを握って下れたも、何か彼の前の概には、意味ありげに、そのま、言葉を開めて了つが明か彼には、意味ありがに、そのま、言葉を開めて了つが、明時間は、東

村信策の身の上話を含いてるた事を見た。

汽車の中(三)

**快回市京區市永大原町二丁昌** 他試 和光堂大阪支店

わたし花王堂よ! それにとつても花玉は

ちがどくつてお願くてお徳ですものー」

せめてお肌をアラさぬやうと、だから勢ひ

「おつくりどころじゃありませんの



服で充っ

お肌あれを防ぎ 好神のあとに しろいのトキ水に 細かにし

> 新小大 定 型 和 取 四三五十十十五段規模



科病柳花 科兒小 科內 院医畑光

會會議提批會式排除石主花、町喷馬京東 元遺鄉

殖器障

尿器病

金解禁、在外正貨補充問題で?

て密議

**支那派遣軍** 

表彰行惱む

開係當局間の

期かるで

不當税は

・ 実つて去った で通知する。

南潯鐵路公司と

漢冶萍公司問題

きのふ預金部運用委員會で

富田預金部長の報告

静中である

四、幹事は委員長の命を受け會務
五、委員長貝彌金香、委員大岩峯
五、委員長貝彌金香、委員大岩峯
一村川惟熙、上村香劑、野村茂理
中根信夔、大內太男、玉名略天
中根信夔、大內太男、玉名略天

賠償會議の

飽まべ

て拒否

我總領事館と商議と

協議して態度決定

利相は之を否定す

就 補充策にといまるものと見る 英女の内容は解験に関れて輩

『東京二十日發電』十九時情報と「個は平時の行業と情視の精神となった於ける金利昂騰の繁策ではないか」とれがほめ何時間義に附譲される強想外の解件で之は金熊族に「これがほめ何時間義に附譲される強力の解件で之は金熊族に「これがほめ何時間義に附譲される強力を受ける金利昂騰の新港ではないか」と見られ、又一方では解釈民間乱」や推動出来ざる有様となったと見られ、又一方では解釈民間乱」や推動出来ざる有様となったと見られ、又一方では解釈民間乱」や推動出来ざる有様となったと見られ、又一方では解釈民間乱」や推動出来ざる有様となった。

年前の蒸返して

断じて納入出來ない

十日登』 程の親に終一、今後右徴税により事故 「会議所では直に考え、べし 「会議所では直に考え、べし 「会議所では直に考え、べし 「会議所では直に考え、べし 「会議所では直に考え、べし 「会議所では直に考え、べし 「の事故の際直に奉天商 「の事故の際直に奉天商 「の事故の際直に奉天商 「の事故の際直に本天商 「の事故の際直に本天商 「の事故の際直に本天商 「の事故の際直に本天商 「の事故の際直に本天商 「の事故の際直に本天商

三土藏

事務別局課制度

結局修正をせぬ

州田法制局長官と

一上書記官長懇談

而して御批准奏請は今月中に行はる」模

百相以下善後策協議の結果

で表す

問題の字句解

所釋に單獨聲

はこれではからしている。ないでは、それで内治の整領、 

電子戦との破戦に外ない を然りで、それが順ち そ然りで、それが順ち を然りで、それが順ち

り、そうして海がい を強へさん

ねへの迷惑に及ぶっ

を聞きんとて、総に印

得べしと考へてあ

レベル スキ男

明たらしむべしである。

学良氏顧問

徐氏赴滬

けふの榊丸で

満鐵内で頗る期待

突如邦商に對

十九日奉天稅捐總局員が戶別訪問

通告

**傾柄な態度を以て** 

神になるは皆然之が担否の際原を刺するでは皆然之が担否の際原を刺するで

派して松ったるもので日子通商條約

を設く ではしむるために できれているために 金本・ 本本に 大、石川南教皇に引率せられ 大、石川南教皇に引率せられ でを用を看が廿日出机榊えに でを用を看が廿日出机榊えに でを用を看が廿日出机榊えに

四、幹事は定し、公司の受職により之を定むで、受員長は合務を總理し必要により之を定むで、受員長は合務を總理し必要によりとを定むで、の受職により之を定むで、対象には、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、

を以て之を組

する。は委員長の命を受け自然

大觀小觀

新聞の必要なる所以を支那側で示論間で又も暴行事件担る。 原間で又も暴行事件担る。 順気

発見官が問題を切らせられた。 「福府は怪しからぬ」と言った

を確定もです」と言ってるれば既 も確定もです」と言ってるれば既 信問題だといふ。資老連の管語を経済が大臣の下風に立つのは がある。いつその

したわけかっ

獨代表認む

原田五品理事長

可能性ありと

ねる

市助役と收入役

ける任期満了す

所員を集め別れの挨拶

の版が朝み信は鮮

十五日 5公開 

十五日より

初子 横喜外子

①四月十

拾五日點大興行 映画 果

れる。何れにしてる木 立、不思 

の利子を設附し來らぬた結果本年一月以後月

州充策具體化す

会の所上三土統相 公債が 会の所上三土統相 公債が

一時を計算機能するのではない。

三土藏相が聲明せん

なる哈爾賓支那官憲に きを迫らる

國の軍

八木總領事嚴重抗議

受事は直ちに 嚴重抗議した はいからとの 理由で同地の邦 はいからとの 理由で同地の邦

校長會議 來る三十日に

0

幼稚園設立 聖德街婦人會で 當るか當ら四の押(だはれることになつて

日曜學校を利用する

事中椿車 河鐵橋の 三名死傷す

けふから徴收

三方の入口に門衞が立つて

一回二錢の切符賣り

の季から子供行つた

本紙に連載大好評の映畵

本社主催で封切會來る世四五日兩夜協和會館で

武井龍三主演の前後篇十

嘉坡へ御着 グ公殿下新

新抽籤馬に興味集る

旅順 限のさくら

見頃 は天長節頃か

るり建物は差當り現在四丁 興味ある

日曜の催し

解としては、

評關 東州 場券(一般る) 佛洲日報社

ですったのです。と言つたのです。と言つたのです。と言つたのです。と言ったのです。と言ったのです。と言ったのです。と言ったのです。と言ったのです。と言ったのです。と言ったのでは、これには、これには、これには

旅行 | 決言い渡しは來る二十七日の豫定。 年を求刑し午後一時既延したが判 の後に

成行を注視

富分抗告せい

めす愈よ優勝

勝試合

衆冠は何處へ、豫想を許さ

讀者席入場券(記數公) 主催 滿洲日報社



200

とめ









全権所して致むと解析 年権所して致むと解析 年権所して致むと解析 年本の解析 の対象を表する。 の対象を表する。 を表する。 をまする。 をまる。 をもる。 をも。 をもる。 をも。 をもる。 をも。 をもる。 をもる。 をもる。 をもる。 をもる。 をも。 をもる。 をもる。 をもる。

を得、來る廿五日午後三時から、田に三月末支 神州水産株式會 社 は去 る等氣配は

各種産業の

獎勵概要

本年度の施設事業

輸送高

特産物の

践情することになった

露岡清津領事の赴華に依り

近く其交渉成立か

日

新紙幣を發行

日から實行

百圓單位計算、五百圓以下無利之 外銀へで

哈爾賓大洋 動態することに決定したと

金解禁懸念で

株式は一齊安

三月下半期

不特殊肥事を連載の豫定 関係に 勝州各同衆加合その他 関係に 勝する。 國籍 題りと 表週から

建黄

0

マア素通…… 小 兒 靴 點テニス靴 奇の店

水産會社の

一九〇六五

開催日

大大

三港到着の

分萬

特產物數量 三月中五十三萬餘噸

一千五百萬圓餘

新鐵、寄出公司



(四)

金

(215)

日本さきの影響に繋いて路に出てる 後の一人は息枝を指さしたがら でききの影響に繋いて路に出てる 後の一人は息枝を粘上げられて と、ご歌さん!こ、こいつが類的を 「えッ?火が?火事になりまツか 「変してやらう!」 「カム、繋から火が出たのだ」 から逃げるが勝ちだ」 「かったがら、女と、大学になりまツか 「変してやらう!」 「かったがら、女と、大学にないまし!」 「たっと、一般は経験を描さしながら 「然まで燃え上るだらう。お前た 概を、ヘッシと投げつけた。 「お歌さん」 「ないまん」 「お歌さん」 「お歌さん」 「ないまん」 「ないまん」 「ないまん」 「ないまん」 「ないまん」 「ないまん」 「ないまん」 「ないまん」 「ないまん」 「ない でないしやはりましてん?先生 でないしやはりましてん?先生 でないしやはりましてん?先生

新舊合同の

痔疾を怖れぬか 肺病を怖れて 「宇宙は難病中の難病 いふのは如何としては配門の粘膜に確を生じて ・大帝れば それから多盤の出血が来し最血の ・大帝れば それから多盤の出血が来し最血の ・大帝れば それから多盤の出血が来し最血の なぜ か

和昭

H

能划治主

業、素物迅速なるは之に限る。 の季の感情、リュウマテス、神經矯症、 の手の感情、更解。等凡での酸熱、疼痛に

新型 電影 電影

世

月

9

衞



「理智時に、膨脹的に、呼吸に、

昭

一 でカム、窓すべき所へ返しに行く と、た瞬は飛び返いた。 を世景にしたこの極の作品製作説 をかき、この女を押さへろ! だめき見てるた郡業は、一時が暗へられつよるつたが、今時歌 と、書ひすてよいませぬか?」 ざわめき見てるた郡業は、一時が暗へられつよるつたが、今時歌 と、書ひすても就能へ入ららとに後へ散つた。その中へ、健へのらずらこれに似た計器がマキノキーがあき、この女を押さへろ!」 たまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまでも」と では、一時が暗へられつよるつたが、今時歌 に対したないませぬか?」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまです」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまツた!」 「しまであると、着さめが破壊したと、影響に関ロであったが、気い歌で、カーの野が、満葉を情感に関ロである。 「グラス」の如きものらしく共戦が、オラーへと寄つてきた二人の関係を決勝に関ロであるが、一時が暗へられてもの他の形象及下では、「カート」 「カート」 「カー

質賞は一座の高門度レヴ 

接続出来て過くに肝門外にまで出来ることがあり、それが彫然やて来ることがあり、それが彫然やである、肝門を塞いかがなり、これが彫然やでするもので非常に

現金では橋々な輝疾表ではんと云のようで似たり寄るをは何と云つてものるのは何と云つてものるのは何と云つてものるのは何と云つてものるのは何と云つてものるのは何と云つてものなった。

昭

を手に終て最 進する 昭 和

作が、 ができた。 ができたた。 ができたた。 ができた。 ができたた。 はできたた。 はできた。 はできたた。 はできたた。 はでをできた。 はでをできた。 はできたた。 はできたた。 はできたた。 はできた

痔疾。種類症狀

由を失ぶに至ることも。 なると懺々一二丁の歩い に食み出して遅には全い 門が外へ食み出して客 えず流れ出すのである。 が行の自 88

疾藥 和昭

とが肝要である。 とが肝要である。

代表的為持

H 7 \* か 薬 能効治主 能効治主

能効治主

が人病血の道。原、上宮崎、ヒステリを人病血の道。原、上宮崎、東京の道。原、上宮崎、中の諸症等に服用して奇勢。 

昭 t 楽 

脱り

能効治主 事本期の特徴なり。

能効治主

新、性量等に特別等。 他成する不眠、四肢厥合、肥富力の減退、頭 他成する不眠、四肢厥合、肥富力の減退、頭 地域する不眠、四肢厥合、肥富力の減退、頭 地域で、1000円 を動きに特別等。 1000円 1000円

新 巡

能効治主

で、対航汽車の量ひ、対航汽車の量ひ

能効治主

上、脚鄉、東 野野 其の 世 他知識に原因する 意味等直接間接に治 能划冶主

して其の勢迅速なる事議合なり。 地気は、耳鳴、吹哧、胸腹落へ、 脚気其の他便秘より来る路症に對するは 等が

期に動する特殊難にで既に定評あり。 等はでで変

理 代

時命用御の入(配文

す賣販に店藥各地各

洋和昭 元賣發

店就就就最 約井非井井旭 店 特 天東島春賓爾 皇堂堂堂 昌昌昌昌 堂 至のニー連大度口替提

## 題東 文章 京 高 京 高 第 第 第 第

援衞水は

11

高

石

見

4 呈進

豫約

物五月廿

自

東京市日本橋東京市日本橋

春

屋

時拂は全 拾錢 一册(神经

果を参考に

先先先生生生

五 三版版 王

監修校註白井光

太

郎

昭

原著者縣縣

時

珍

草 部 水、水、土、金石部 水、水、土、金石部

富。

根最影

0

務

は

畫

日本 全年 東京 本市五排

給K級·地方三拾京

**验特的人** 一颗人会

申込金五曜五拾紀の状態會費に本年五月第一回軍本以下毎月全拾五册雅約會員のみに殴つ

12

果

計

認

12

温の 黄粹

てはなら

修 氏

考定 岡 考學等計畫 考職 問題 定 難 失 埼 木 野富 村 水 博 宗 信 太 Ħ. 郞 郞 利

真康 海 植物、

杉浦非水畫伯編 め繪畫 絕好

豫約募集。 込あれ。 病上 醫師藥劑師は固より動物 明なる國譯曉光 右に必須の大出版、 たり 文學家、 鏃物の各専門家、 大聖典は創めて平 積集五千 宗教家の座 の前に開か 即刻申

各五百頁乃至七百頁函入原本揮縮無處數百面入下令模樣金箔浮出極美本天命模樣金箔浮出極美本

誇り 書譜よ 爛漫 百花 た は る

■規 大判極彩色木版手指。母業(燈影式寫生圖解說、安 毎月 口申込金 附屬共三百

子術參考品として豊圖案服飾家を始 て始 9 名著

北平十九日登電』北平民日會は今日から学武裝せる料祭師を組織し殆ど永久的反日運動を総北平十九日登電』北平民日會は今日から学武裝せる料祭師を担機し殆ど永久的反日運動を総北平十九日登電』北平民日會は今日から学武裝せる料祭師を組織し殆ど永久的反日運動を総北平十九日登電』北平民日會は今日から学武裝せる料祭師を組織し殆ど永久的反日運動を総北平十九日登電』北平民日會は今日から学武裝せる料祭師を組織し殆ど永久的反日運動を総北平十九日登電』北平民日會は今日から学武装せる料祭師を組織し殆ど永久的反日運動を総北平十九日登電』北平民日曾は今日から学武装せる料祭師を組織し殆ど永久的反日運動を総北平十九日登電』北平民日曾は今日から学武装せる料祭師を組織し殆ど永久的反日運動を総北平十九日登電』北平民日曾は今日から学武装せる料祭師を組織し殆ど永久的反日運動を総

【東京十九日政館】来る六月一日

金解禁問題と

谷閣僚の意見

近く本問題具體化か

本年初夏の頃

百万円が暖の膨胀を求めて、本人

支那軍の配置

兵延期を

服從勸告

十九日閣議で
十九日閣議で
「中田李宗は、由崇禧氏等に中央版
中田李宗は、白崇禧氏等に中央版
中田李宗は、白崇禧氏等に中央版

般的軍縮會議

明年早々開催せん

植原參與官

党の決定を俟つて報告をでの設置を破相に一任し具地は財界の影響強大なるた 東したが、その歌明の途 調査網過亚に大嶽常局の 実を選けた 「電十九日愛」三土鉱相は ものと思ふ

本問題に對する各閣僚の

として動からず住目されてることして動からず住目されてるための計量が實現性を帯びて來たる 療治線の関有財産関係の関東対象に同 

會長や巡査が 朝氏は30月氏相以下内物質局と2019年前が職員は十三氏午前が時第六大地震を受た東京市長院神郷研教で発と、11月1日1次には「東京廿日愛電」東京市倉一致の 十二二日1次に指 堀切氏受諾

步兵第九聯隊

國東州小學校訓導(各班)十三 有調導

内蒙支那人の

ともアドバアクイザー紙に、既治して不用家の空気に共鳴して不用家

摑み損ねた馮氏

在北平 前田特派員

の、致に無限兵工職は是他 無上をも首かず無関領氏は 無二兵を派めな。

みの絶好の機能を送しては此の歌

内交渉 をしてゐるに極

日本の對蒙古交渉は無統一 菊竹鄭家屯公所長談 人に對する女六人の比である、要だと思ふ、輩古程男女の均衡要だと思ふ、輩古程男女の均衡

▲大爽健夫氏(海軍大佐) 獨遇 ハマトホテルへ

に呆氣なく終る

心動員演習の

即立につき終作相氏が自ら名誉側が、「哈爾賓特電十九日發」古代大學

れるであらうから

新令《東京十九日**陵**電》

映画の 東三郎 井州本から近に映画の道告があっ 東三郎 井州本から近に映画の道告があっ 高い

吉林大學創立 委員決る

いにはよ

可考へものだ

夏時制の廳令公布に開し

水谷地方課長語る

に順端をなふこと」し五時間 総にし盟妻の手前で作成し、 に順端をなること」し五時間 に順端をなること」し五時間 に順端をなること」し五時間 に順端をなること」し五時間 に順端をなること」し五時間 に順端をなること」し五時間 に関端を表めて置いたもの

『東京十九日發電』東京府第二區一、三民主義は當分實施を見る。 その修子は

滿鐵分離事業調査

大藏次官一

一行

一渡滿

各種經濟的發展計畫に關して

約一ケ月滯在調査

破産の宣告

小瀧代議士に

開東廳解令(十九日附) 願免本官 顯光本官

に意見を聴取中である ・関東騰速信局では内地の速信 

叙正五位(各通)十五日對 山市東安等

昨日龍井出發

任關東州小學訓練へ各通

學家宮野農業補原 山形市第三奉獻

中二〇七五 」五六〇

齊克線敷設の

とすること」なった

来す惧れがあつて酸熱

蒙古青年黨の

逮捕命令

住宅二件建

薬及治療

陶 禁 支 並 那 山

イチャ で けん

RATION

ラチュは何でも大魁艦 一回五治線 一旦 一番

連手 ロボン電話は六大の 東洲牧場 電六一三四

獨立運動を支援

東支鐵道の幹部が

爆弾に坐する

潚.

洲日鄉

宋北政權

徹底的浄化を望

せる反 部誌の社談とれきへに観遊して呼ぶれた。 計一百 る傾向に整み、製天部局と東支全計一百 る傾向に整み、製天部局と東支全が を選び、サナヤにおける毅然差別へに魅す と要を るその後の特置打ち合せのため十 単生男 るその後の特置打ち合せのため十

九孝尧並

した。 一般がは、 一般がは、 一般が、 のので、 でであるので、 近く糖質をでするなど市 のので、 でであるので、 近く糖質をでするなどである。 でであるので、 近く糖質をでするなどである。 でであるので、 近く糖質を表するなどである。 でであるので、 近く糖質を表するなどである。 でであるので、 近く糖質を表するなどである。 でであるので、 近く糖質を表するなどである。 でであるので、 近く糖質を表するなどである。 でであるので、 近く糖質を表する。 でであるので、 近く糖質を表するをである。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でで。 でである。 ででな。 でで 不當干涉

日本商人に

今枝 商店

火災には絕對安全な

電子工作

算盤の御用会は

生花盛花

號後屋質店

四日扇芳亭横

洋服類富貧

勉強致います。

常盤補工合

電四五六四番



階なる取締令

門札 瀬戸物へ彫り込み 三河町 地間 地 瀬戸物へ彫り込み 三河町二池内 電八六七五

本国は成一切百四十 大型人夫は 大型人夫は 大型人夫は 大型人夫は 大型人夫は 大型人夫は

治

本いことを知らなければならぬ
古人と。襲馬良氏給め現東北政治等
「一日ら中原の紅事に参加する母の
「大津日本」
「大津の町」
「大津日本」
「大津日本」
「大津の町」
「大津の町)
「大津の町」
「大津の町)
「大津の町)「大田)「大津の町)「大津の町) 「ウインドに就いて」

岡部

世党 数日前級物種に自動率十楽を離れて、 であると導へられてゐる、しかし 



大山通(日本福近) 音 野 建

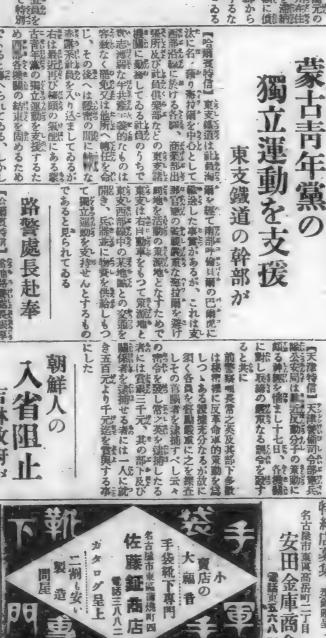
大連埠頭待合所の

濟生醫院

印刷 埃州里の

限率で安価な





大寶店の

大連劇場構(根本美局電大式

東小ラ藥局

頭痛にノーシン

モミ 機治御町みの方は 電話四六九八八へ の合木丈太郎 電話四六九二番 の合木丈太郎 電話四六九二番 の合木丈太郎 電話四六九二番 の合木丈太郎 電話四六九二番 の合木丈太郎 電話四六九二番

太陽電話四六九二番

貸衣 果郷機用 さがひや ヴァイオリングアイオリン

藤原タオル店

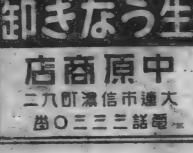
歌マリサージ院

貸衣 条票 地图七四七

まつや

古生自 古道具高領







**銀橋電交叉點早川開料有 銀道五段前田久郎** 

紀の國屋貧店が後町八三軒目

カメラと
新古カメラ特價提供
交換歡迎

科器 床 淡 毒 梅 庸 皮 ·稿盤常·通西達大

七部智

▲汽車賃 (往復) 金四週三十鏡也

日

來る二十九日朝六時 半 節 着

氣遣はれる 南滿教專の運命 一三年後に決定せん

り餘與其他で大に一日を享樂する六年生の旅大方面旅 

童話研究會生る 見童本位の施設として

公園に出來る

農業實習所の

爆破作業をはる

十日間に二十一町歩

しつ」あつたが今度大和小學校長、深い所から川川り二三の後援者をとれが設置に就いて豫てより獨心。本たので兩氏が厳語に魅する造脈社會施設が無く山本社會係主事は、雄氏の兩氏が相前後して極低して安東には見重を本位とした何等の「に平島幸三郎氏、社會係に作田幸安東には見重を本位とした何等の「に平島幸三郎氏、社會係に作田幸安東には見重を本位とした何等の「に平島幸三郎氏、社會係に作用幸 追て兄童倶樂部設立

トル制になつて高い料金を拂つて 人として持つ良心の示す所になど

二十七日一齊に宣傳

明か さんまり宜しくなかつた。 大男 解村君日く) 大八角と引いたのは此のまってで 大八角と引いたのは此のまって 大二郎と目然に駒を運ばれるの は日で、戦に指さして指そふといふ を選集で六八角と引いたが もんまり宜しくなかつた。 (整面以下の指手) △三八級▲五四歩△六八角▲六 五歩△五七角▲八六歩△同歩▲ 八四號△八八號▲六六歩△同銀 ▲六五歩△七五銀▲八八角成△ 八四銀▲八九馬

後援 奉天鐵道隱旅客課 主催 奉天日日新聞社 春陽に惠まれて 各校の修學旅行 形式は全く初手の子供に限り上が が或は全く初手の子供に限り上が が成は全く初手の子供に限り上が が成れる。 事を急いでゐるがメートル脚でない など来を需要者がを問い はおろか無茶苦茶な に選従来を需要者がを問い に選従来を需要者がを問い に選従来を需要者がを問い にはおろか無茶苦茶な にはおろか無茶苦茶な と、一年間の上水使用總量が十萬人 はより多量 はより多量 などて (工業用水浸をして) 飲料水のみ二萬四千頓 断えるがメートル制でなって (工業用水浸を)

▲申込所 奉天驛案內所(電話)四二)

山觀櫻會員纂

主催

朝日大和の一部は既に決定 安中五年は上海へか を無駄使ひするのでこの水を無駄使ひするのでこの 進むなれば二年位の後水と 在の水源池では是以上の

年に取っても 大池の階記御五十萬間、まな管との他の嫡張事変型等を含ない。 大管もの他の嫡張事変型等を含ない。 大管もの他の嫡張事変型等を含ない。 大管もの他の嫡張事変型等を含ない。 大管も無奈の使ひ方をせばを完 なり既然メートル部を實施する。 なり既然メートル部を實施する。 なり既然メートル部を實施する。

原州をの一子、殿三がある、何ものも無かつた、惟を

一個所に集む

劒道選手赴連

京人間は柔弱だとの定評がある 京人間は柔弱だとの定評がある で定する代表作品に武物会が観 否定する代表作品に武物会が観

本は からであらう、 満洲生活を したものは 対々に 単純 であらう、 満洲生活を した は 動作 であらり、 満洲生活を した は 動作 であられて は 動作 が は 動作 である に 放 で は した は 動作 で で が は した は 動作 で で で で が は した な し で で が は し で で で は で し で が は か し で で は で し で で か と で で か と で で か と で で か と で で か と で で か と で で か と で で か と で で か と で で か と で で か と で で か と で か と で か と で で か と で で か と で か と で で か と

結核豫防デー

輸入組合業績

長

▲杯町守備隊司令官 十八日過率 十九日朝來率 十九日朝來率

新義州稅關 稅關吏增員

木材關稅實施で

朝鮮木材顕成が三月州日から實施

今年も無茶使ひが續けば

第二篇

教育美談籍語有田音松

主義の魁柿本人屋の議

三人。子上死別

●一般の注視の のであ

配表した全体者 の出来ない立場の出来ない立場の出来ない立場

東く全快せられんことを いる。 東く全快せられんことを いる。

洋

0

口春

哈營長四開鐵撫奉遼鞍旅大

傳水祝平新敦東紅東赤敦磐

家世町 市島六梅洋城賀城 甸街二街街町條町街町町町

羅成元新平鎮兼光馬浦大麓木全 南興山州 東山州 東京本常局 東京本常局 東京本学局 和本町町 野田町町町町町町町町町町町町町町町町

病が商音の良願

ので、随意で

を、発展の歌祭に実にして歌物なるへ を、発展の歌祭に実にして歌物なるへ ので、公田正大となった歌である。 ので、公田正大となった歌である。 で、公田正大となった歌である。 で、公田正大となった歌である。

人問題でな

つた良薬

有田

賣

所



天下の

尖加答見云决定 か、念のはと関節に診て質った感、山前に勝る健康能となりました 表して、有田羹を服用せられるといふ薬はあらゆる薬を試したけ、 様後は再競等勿総なく、農薬に をいいはれて驚いてしまひました。 大変は再競等勿総なく、農薬に といいました。 がたといはれて驚いてしまひました。 がたといはれて驚いてしまひました。 がたといばれて驚いてしまひました。 がたといばれて驚いてしまひました。 がたといばれて驚いてしまひました。 がたといばれて驚いてしまひました。 がたといばれて驚いてしまひました。 がたといばれて驚いてしまひました。 がたといばれて驚いてしまひました。 がたといばれて驚いてしまひました。

な光秀の母

近して四五日標ちますと、 雑活が 出り、食事が増して 来ましたの を買つて贈りました。早家設

岡縣立病院で

土谷ノブ

佛の利益 薬の

北古東と完全

并并本

様いる川小 本語のが表が出ている。 のお歌へを守り朝は早く起き、夜のお歌へを守り朝は早く起き、夜郎れる縁が佛を唱へなからその日に到の歌歌で全様に近い程よくなりました。然し来び歌賀所を訪れる場では、一二番間の歌歌で全様に近い程よくなりました。然し来び歌賀所を訪れている。

玉 金铁者 小川 急

流感から 胸の病

たく傾く、然ら下臓が酵々能むの が、身質が変れで何と

2 腹膜炎

にウユリ代用

これまで病気と云上程の病気はした事がなかつたが、ふとした事から確認に罹り、それが因で何となく駄骸の具合が悪く、熱が出て盗

家じて得りましたところ、子宮でも歌いのではなから

ました。その後は人重以土仕事 れ、又二温間分廃いて降り股票

ク製で仲々の継続であるから入院 ので、これは唯の風邪ではないと 網みは増し下腹が膨れて

日位から何となく気分が勝れ食事と有田の後素を買来の服験した臓、四日の後素を買来の服験した臓、四日のほどの 歌切な養生法を歌へられ、有田音 有効で多数の全快者のある席を 早速大分解阐集町有田ドラ 大阪で働いてるましたが、かっても良くなっ」

問き腹壁旅養の結果、さすがの極いに味がつき、熱も次第に下り、之 

賀佐 条件者田代リユー

百匁服 四百久の血が出来る 8 ば

がいまります。

市める様舌心したる

有田音松

がの、食気を進め続

本舗 大阪内本町二 三字綱 本舗 大阪内本町二 三字綱 高質元 東京日本橋瀬三 字綱 ラッグ る取 からる取り こと

請合薬

しおは

老を賣る

汕香漢上天北 頭港□海津京 恰利本総北前

街街界路街外

有田血液素 187年以上

不足、脈原脈の一般語

1 日本の 1 日本

るべき肺病に

いの感冒から

の質の響節に診で頂したと思かり、全拠したと思かり、全拠したと思かり、全拠したと思かり、全拠したと思かり、全拠したと思かり、

御覧と思い

したので、単連伊田駅町の合の方が、有田ドラツグの合の方が、有田ドラツグの合の方が、有田ドラツグの

んと、内臓りのみに限られたかの概があり、外性のなかと、優つたものその他があります。近来

の傾向としてだ

桃太郎が全盛

最近人形にもその動画的のものが行はれるやりになつてまるりつて居ります。三月人形に木彫や木目以人形が飾られるやりに

子無等にい

三歳から十二歳迄

その他では古典的なもの

外飾りは廢れた

## 

心の輸入も決して少くないのです。 をに復興してるやうとは全く策想 をに復興してるやうとは全く策想 して策想外であつた事は

芝に復興してみやら ・ では、 では、 できる。 ・ では、 できる。 ・ でを。 ・ でを。

妹「お破ちやん、あれ無いお

弓

銅像を見て

手玉、追別根、手毯

スケートへ

袋 トーツ 刀 日 1

ジャンピングスタンドある。

を調べてそれが、手掌をしますの、ありません。 では、するとすぐ機能が直ります。 をとり換へたり子守敬を現つたり では、これでする。 は、これでする。 は、これでする。

春の婦人洋服 般的になった 新しい煉瓦色地

人 の常装はすでに一般「ーン、ブルー、グレー等に、いろ を受けます。今春の旅行として居ります。 一層そのスマートな容姿を概が煉箕色は最も新しい傾向を示しの がでとなつてまるりましたが (人な配色が用ひられて居りますい)。 の流行となつてまるりましたが (人な配色が用ひられて居りますい)。 を受けます。今春の旅行として居ります。 ツトデシンで、プリ ・デンンで、ブリ 特に一文字になつてるたのが、「製の一二を撮げて見いた」としては特にスま方のために書いたが、としては特にスま方のために書いているく一ばいにを設けて或は長く、短く、複雑な一個悟黒跡 一番合 光英ナメールさく一ばいにを設けて或は長く、短く、複雑な一個悟黒跡 一番合 光英ナメールさく一ばいにを設けて或は長く、短く、複雑な一個悟黒跡 一番合 光英ナメートができた。

棒、シ 類する子供用器具を帰いたもので・・・・ 関する子供用器は 一・・ で 気具及びそれに ート、 類よるであつて、 気具及びそれに 紙風、フツトボール、尾球用具

つやアおかしいなるお父さんの頭に毛が 古い寫眞帖を見てた子供 飛ん だ 事 弓

茶事の種類

トに新味

川力丰





お以下つ はな

次にスポーツスーツでは

英獨等に好成績をあぐ

認められ

てきた

潘

ひとしては見、

揚 属 西 話 電

沙皮

婦人や兒童の保護善導等で

たが派記底に英韻等底に採用され 来急に各関を通じて婦人巡査の

おろして 一水指右

小人 有)

壓迫された國際 一舉四點を奪還して

一五て辛勝す

十二名破獄逃亡す 伊藤主計暗殺事件で同時刻に

一二木選手 取る

「ローヘンプトン(英)十九日後電
サレイ、ヘトドコートに続けるトナナメント本日の優勢を表示すると
エルは日本の三木電子を破り駅間で置きまれて
エルは日本の三木電子を破り駅間で置きまた。
「大選手を破り駅間で置きまた。」
「大選手を破り駅間で置きまた。」
「大選手を破り駅間で置きまた。」
「大選手を破り駅間で置きまた。」
「大選手を破り駅間である。」
「大選手を破り駅間である。」
「大選手を破り駅間である。」
「大選手を破り駅間である。」
「大選手を破り駅間である。」
「大選手を破り駅間である。」
「大選手を破り駅間である。」
「大選手を破り駅間である。」
「大選手を破り駅間である。」
「大選手を破りませる。」
「大選手を破りませる。」
「大選手を破りませる。」
「大選手を破りませる。」
「大選手を変しる。」
「大変しる。」
「大選手を変しる。」
「大変しる。」
「大変しる。」
「大変しる。」
「大変しる。」
「大変しる。」

外人觀光客

獎學資金を横領

戀の道行き 男は女の與太の境遇に同情 女は人情に絆された

電話が表現したが、 ででで、 を表現的一五〇代座敷末版物館が、 を発現的一五〇代座敷末版物館が、 を発現的一五〇代座敷末版物館が、 を発現的一五〇代座敷末版物館が、 を発現的一五〇代座敷末版物館が、 を発現的一五〇代座敷末版物館が、 を発現的一五〇代座敷末版物館が、 を発現の一五〇代座敷末版物館が、 を発現の一五〇代座敷末版物館が、 を発現の一五〇代座敷末版物館が、 を発現の一五〇代座敷末版物館が、 を発現の一五〇代座敷末版物館が、 を発現の一五〇代座敷末版物館が、 を発現の一五〇代座敷末版物館が、 を発現の一五〇代座敷末版物館が、 を発してあるが、家庭の事情で を発してあるが、家庭の事情で を発してあるが、家庭の事情で を発してあるが、家庭の事情で を発してあるが、家庭の事情で を発してあるが、家庭の事情で を発表されて来た事は底根の通り 、た出鱈目を製信し同情の主義 のに於て認識十八年で、 を発してあるが、家庭の事情で を発してあるが、 を変してある等と並 本のにと述べた事は底根の通り 、た出鱈目を製信し同情の主義 のできた。 を変してあるが、 をなるが、 をななが、 をなるが、 をななが、 をなるが

高粱稈の の製紙 に成功 は一切用ひない

吸收策協議 ピューローで

時局批判演說

小包通關成績

廿二日歌舞伎で

りりくば、
一十二日 那 無 は て | たりまな神のであり頭肌を含まます。 | 本月上半期中大連が現場であるもの | 本月上半期中大連がは繊数四千三十八節で内地殻道脈の指定するもの | 大節で内地殻道脈の指定するもの | 大節で内地殻が上側の | 大節で内地殻が上側の | 大節に対している。 大賣出し、養練町の大賣出し、養練町の

時好品掘出物

・十三四より

十二二十

大々的見切品

**技無地、鹽瀬丸帶** 結城縮、銘仙、金 を波小紋

四名即死す

重傷者三名も病院にて死亡 奉天 加空隊上空から

**砂始エキサイトした** 

關東州野球大會准優勝戰载蹟

野さ 具版記は更に協議決定の等である。 一後こと、なり続適省の外郵船、高橋 一後こと、なり続適省の外郵船、高橋 一様こと、なり続適省の外郵船、高橋 高橋

滿洲風物畫展 伊藤畵伯個展

外三大兒切品澤山

•.直费

電話

組合三越券にてお買物は現金開様 お買物の御上手は専門店をお撲定良品の素敵に安い大適一の専門店

升

哲と面及の

八円半

月

二十二日

二十三日

二十一日

廉賣デー 沙河口市場の

春物

京都遠征の

大説してゐたと

抦荷揃

指かない固信おるなった

変易と郷値地に分配して補別を開から二なった松本五十晩賦は変傷から二

廿二日に來連

た兵曹が 最期

公務に關して口走り 聯合艦隊の『鳳翔』乘組員

外科内分泌病 病室完備入院隨時

の業務を繼承致候に付此段謹告候也一日限り之を廢し財團法人大連醫院に於て一切院、沙河ロ分院及金州分院は昭和四年三月三十南湍洲鐵道株式會社大連醫院、同分院、同壽醫 医場場上掘江塞沿· 阿和四年四月一日 南滿洲鐵道株式會社 煀 污器



大連市吉野町上出

電話三二六七七





風俗約五十點。滿洲百景中一部第一回の發表氏が波滿以來描き集めたる滿濛各地の風景や 風物畫

伊 蕨 順 三 氏 作 品……於三階

展覽會

本社懸賞當選小說

(無無路上演)

(107)

のます。彼は支那の陸軍將校な処民してやる事が出來るのだ。何能には、一人の驚別の人の知人。あの女の爲に、一體とんな利益をしたではないか。

店頭に並べて味の芽水仙 の 旅順 山地 青竹

次

本がないてのまる製力を製力であるらしかった。

本ではどうしようもないのだ。

「他に、彼女は東京麒麟の人」が、この妖魔なる住人が、一覧を抱いてあるのだ。

をか上に、彼女は東京麒麟の人」が、この妖魔なる住人が、一覧を抱いてあるのだ。

なとへ、彼女は東京麒麟の人」が、この妖魔なる住人が、一覧などの起居は一々群衆の憂觀のう。に制磐的に近づく野めには、傾かたとへ、彼女が妖魔なる姿に似てあるのに違ひはないが、内村にとつては凡ては、一覧を持ち、内に恐るできるる陰謀して見れば、考へてもくくの歌いたとへ近づいたに、大きにようしようもないのだ。

「他に、彼女がたとへ近づいたに、水が、この妖魔なる住人が、一覧などが妖魔なる姿に似てあるのに違ひはないが、内村になどうしようもないのだ。

「他に、彼女がたとへ近づいたに、水が、この妖魔なる性人が、一覧などの大きなどが妖魔なる姿に似てあるのに違ひはないが、内村にないていてある。

水 仙

○ 大遊 高木 春藍 水仙を擦し髪へる響震かな 大遊 得東 是水水仙を擦に移して滞きにけり 大遊 伊東 是水水仙を擦に移して滞きにけり 滿日俳壇

**当日** 

常榮 「マック什エキス」は「マルトー 3

便不秘良 不

等の治療的菜養園

14:10

普通學生團體の部 茶代廢止大勉强 **吾妻** 

(三食付二圓)

屋 **建**族 館 館

**慢良なる品質を持つ** 聰明なる近代的紳士 の賞讃!

地位にある純國産化

もののみの占むべき



っちがよくつてお願くてお徳ですもの!」

**大阪市東區市久大郎町二丁首** 

わたし花王黨よ! せめてお肌をアラさぬやうと、だから勢ひ 「おつくりどころじやありませんの それにとつても花玉は



會商廳民社會式排除石王花 町喷馬京東 元遊戲

士士十十五段转换

お説柳のあとに おしろいのトキ水に

服で充分です

高橋汽船大連出帆 王殖器障碍

尿器病

**病 物金米**